

Digital Life の歩き方

Digital Life は東京大学情報基盤センターの広報誌です。東京大学では当センターも関係する情報セキュリティ教育研究センターの新設や、データ活用社会創生プラットフォーム構想の推進などの新しい動きが始まっており、当センターの役割の重要性も増しています。本誌では引き続き当センターの活動内容を分かりやすく紹介していきたいと思えます。

本号の「巻頭言」では、ネットワーク研究部門長の工藤先生が、データ活用社会創生プラットフォーム構想の推進と絡めて、データ活用の重要性とそれによる社会構造の変革への対応について語っています。

「サービス」のセクションは、情報基盤センターのサービスに関する情報を掲載しています。「ソフトウェアライセンスのご案内」では、学内向けに提供しているソフトウェアのライセンス一覧を紹介しています。「PKI サービス アップデート」では、新たにテスト運用が開始された S/MIME 証明書の発行サービスの案内をしています。電子メールの暗号化やデジタル署名にご活用ください。「第二段階全学ファイアウォールサービス利用方法」では、外部からアクセスされる機器を攻撃から守るためのネットワークである第二段階全学ファイアウォールの利用方法を簡単に説明しています。サーバのセキュリティ強化などにご活用ください。

「お知らせ」のセクションは、情報基盤センターのサービスに関するお知らせを掲載しています。「DNS ホスティングサービスの更新について」では、2019年4月にDNSホスティングの機器が更新され、UIも大きく変更されることをお知らせしています。管理者の皆様にはご理解をお願いいたします。「新 ITC-LMS について」では、2019年3月にITC-LMSが更新されたこととともなう変更点を簡単にお知らせしています。詳細はユーザマニュアルをご確認ください。「次期教育用計算機システム (ECCS2020) 及びメールシステムの導入予定」では、2020年3月に稼働予定の次期システムの動向や、MailHostingの更新予定についてお知らせしています。今後の動向を注視していただけると幸いです。「ECCS 利用権の取り扱いについて」では、UTokyo Accountの必須化や利用権の自動継続についてお知らせしています。例年お手数をおかけしていた継続申請が不要になりました。

「報告」のセクションは、情報基盤センターの教職員が関係したイベント等に関する報告を掲載しています。「SC18 参加報告」では、主にスーパーコンピューティング部門が参加した国際会議 International Conference for High Performance Computing, Networking, Storage, and Analysis (SC18) の参加報告をしています。

「その他」のセクションは、上記以外の内容を掲載しています。「相談員の声」では、教育用計算機システムに関する質問や相談に対応する学生さんである相談員の生の声を毎号掲載しています。「新任教職員紹介」では、新たに着任された教職員の自己紹介を掲載しています。「問い合わせ先」には、当センターのサービスに関する URL やメールアドレス、内線番号などが記載されています。

本号に関するご意見、ご要望、ご感想等がありましたら、巻末に記載のメールや Web フォームでお送りいただけるようお願いいたします。

(編集長 品川 高廣)